

☆令和7年度府身協福祉大会開催

11月23日（祝）に府身協の大きなイベントであります福祉大会を国際障害者交流センター（ビッグ・アイ）で開催しました。

府内各地から300名余りの仲間や介助者の方、また関係者の方をご参加いただき、盛大に福祉大会を開催することができました。

第1部では、寺田会長や来賓の挨拶、次に大会宣言（案）、大会決議（案）を各副会長が読み上げ、全員の賛同を得て採択されました。



★寺田会長のあいさつ



★寝屋川市長の歓迎のことば



★大会宣言（案）朗読（渡邊副会長）

大 会 宣 言

当協会は開設以来、障害者の多くの切なる要望や願いを受け

止め、様々な活動を行い、障害者の福祉の充実と向上に向けて全力で取り組んできた。

これらの活動の成果として、障害者権利条約の批准をはじめ、障害者基本法の改正、障害者差別解消法の制定及び改正など、共生社会の実現に向けた法制度も徐々に整備されてきたところである。

これからは、ポストコロナの時代に求められる新たな「つながり、支え合い」のある地域共生社会の実現に向け、「心のバリアフリー」と「ユニバーサルデザインの街づくり」の取り組みをさらに強力に推し進めることが重要である。

特に、昨年4月に施行された改正障害者差別解消法により民間事業者にも障害者への合理的配慮の提供を義務付けられ、障害者には、より効果的なものとなるよう、障害者全般の福祉の向上に向け、積極的な取り組みが必要である。

我々は、障害のある者の立場から、「すべての国民が障害の有無にかかわらず、等しく基本的人権を享有するかけがえない個人として尊重される」との理念に沿った施策の完全実施をめざし、障害者の自立と社会参加を推進するよう、一致団結して尽力することを誓い、ここに宣言する。



★大会決議（案）朗読（石橋副会長）

大 会 決 議

1. 障害者権利条約の規定や昨年度の国連勧告を反映した高い水準での障害者施策が推進されるよう要望する。
2. 昨年4月に障害のある人への合理的配慮の提供義務を規定された改正障害者差別解消法の趣旨や理念が広く国民や民間事業者等に浸透するよう、その啓発並びに相談・紛争防止等に向けて充実した体制を整備すべく、国の責務として最大限努力されるよう要望する。
3. 障害者相談員にかかる身分等、法制度の充実・強化を要望する。
4. 障害者の雇用の確保や就労の場の拡大等、自立支援策の

充実を要望する。

５．障害者・高齢者等の移動の円滑化が、ユニバーサルデザインのまちづくりには特に必要であるため、着実な取組みを要望する。

６．国や地方公共団体の災害対策会議、委員会等への障害者団体の代表や障害者相談員の参画とともに、特に要援護者の名簿の共有による、防災減災のネットワーク化を要望する。

７．エスカレーター片側空けは、危険で障害者への優しさに欠ける「誤ったマナー」であることを周知し、エスカレーターの歩行禁止を徹底するよう要望する。

８．重要な幼児期からの教育において、障害のある人との交流等を通じて障害理解を深める「心のバリアフリー」学習を、より一層充実強化されるよう要望する。

９．第５次大阪府障がい者計画の基本理念にある「全ての人間（ひと）が支えあい、包容され、ともに生きる自立支援社会づくり」の実現のため、福祉施策の取組みが推進されるよう要望する。

１０．大阪府障がい者差別解消条例の基本理念に基づき、障害を理由とする差別のない社会の実現のための取組みが推進されるよう要望する。

第2部では、民謡・歌謡曲大会を開催し、各ブロックから選出された24名が出場しました。

それぞれが熱唱され、観客からは歓声が飛び交い、歌い終わった方々に対しては気持ちのこもった拍手でホール全体が熱く盛り上がりました。



審査結果より上位3名と審査員特別賞1名が選出され、寺田会長からトロフィーと記念品が授与されました。入賞者は

次のとおりです。



優勝 井上さん（岸和田市）

準優勝 村上さん（寝屋川市）

第三位 木下さん（東大阪市）

特別賞 田近さん（守口市）

また、川柳コンテストの表彰式もあり、最優秀賞 1 名と優秀賞 3 名の受賞者に寺田会長から賞状と記念品を授与されました。

最後に参加者の一番（!?）のお楽しみであります恒例のラッキーカードの抽選会では、抽選箱の中から引かれた抽選券が当選したかどうかドキドキワクワクしながら大いに盛り上

がり、今年度の福祉大会が閉会いたしました。

※福祉大会は、共同募金会の助成金を受けています。本大会が盛大に、そして有意義な大会になりましたことを心から感謝申し上げます。

